

## 60周年運動創造室

室長 高橋 正典

### 〈基本方針〉

私たちは、常に時代を先駆け地域社会をリードする運動を展開し続けなければならず、新しい時代に向けて果敢に挑戦していかなければなりません。それに伴い、私たちの運動をより多くの方々に認知していただく必要があります。現在、発信の主流となっているSNSにおいて、事業PRや運動を発信した時、私たちの運動が共感を呼び、青年会議所の活動を認知していただくことは可能なのでしょうか。それらを踏まえ、有益な情報を発信し、魅力ある事業を構築する必要があります。

まずは、メンバーが（一社）刈谷青年会議所との地域への立ち位置を認識するために、これまでの運動を振り返り、2020年度の歩むべき方向性を共有します。そして、私たちの運動をより効果的に発信するために、メンバーが自らの運動に共感をもち、メンバー自身から多くの方々へとつなげていくことで、より顔の見える発信につなげます。さらに、共感を得られる広報活動を発信するために、メンバー同士の情報共有を強化し、新たなコミュニティの形成を図ります。また、60周年という節目をチャンスに、青年会議所だからこそできる事業を構築するために、今の時代にあった手法を模索し、まちにとって魅力ある組織へ成長させ次代へとつなげます。

私たちの運動が認知され、多くの方々から共感されることで、地域から愛され地域に必要とされる団体となります。そして、私たちが率先して行動し、委員会の活動がもたらす可能性が広がり、少しでも多くの市民へと伝播し、心豊かに誰もが輝く持続可能な未来へとつながる刈谷を創造します。